

災害時多言語情報センター

Japan Operation System of Emergency information for Foreign residents

災害はいつどこで起こるか誰にもわかりません。

地域社会の一住民である在住外国人が災害弱者になるのではなく、平等に情報を得て、さらに支援活動もできる立場になれるよう、日常的な多文化共生のとりくみが広がっています。

災害時多言語情報センター・ヨーゼフでは、阪神・淡路大震災の経験からつみあげられたさまざまなノウハウを、どの地域でも活用していただけるよう、全国各地の地域力を高めるお手伝いをいたします。

JOSEF(ヨーゼフ) サービスのご案内

入会時

スターターキットの提供

- ・「阪神・淡路大震災からの10年ー多文化コミュニティ放送局の記録」(DVD)
- ・「災害時に役立つ通訳・翻訳ボランティアハンドブック」

地域のカルテづくり

- ・問診票で外国人住民の在住状況などを把握し、チェックシートを作成

担当者研修

- ・災害時にコーディネーターを務める方に受講していただきます。

災害時多言語情報センター
JOSEF(ヨーゼフ) は、
災害時だけでなく
地域の多文化共生に向けた
各種サービスを会員制にて
ご提供致します

日常時

情報提供

- ・メールマガジン(月刊)
過去の災害時、自治体による防災事例紹介

研修への参加

- ・地域単位で研修を開催(毎年開催/6会場を予定)

OPTION

講師派遣

紙・ホームページ・携帯電話・音声などを使用した、外国人住民への多言語情報提供(20言語以上対応)

→企画・翻訳・制作と、納品まで一括でコーディネート致します。(会員様通常価格から割引)

自治体担当者やシステムづくりに関するアドバイス
→多言語相談窓口、医療通訳システム、各種行政窓口への通訳システムなど

別途料金加算

災害時

状況把握のための先遣隊派遣
(現地2泊3日をめやすとした諸経費)

必要な事業の判断

地元担当者への協力
情報原稿の作成支援

防災ツールを活用した翻訳パックの提供

OPTION

多言語ラジオ番組制作およびインターネット放送
携帯サイトの提供

必要な情報のちらしなどの作成
ポッドキャスト

別途料金加算

○まずはお問い合わせ下さい。詳細をお送り致します。

災害時多言語情報センター
JOSEF(ヨーゼフ)

<http://blog.canpan.info/josef/>

災害時多言語情報センター JOSEF は、グローバルコンテンツ、FM わいわい、多言語センター FACIL の協働プロジェクトです。

〒653-0052 神戸市長田区久保町 6-1-1-201 多言語センター FACIL (ファシル) 気付
TEL: 078-736-3040 FAX: 078-731-6927 E-mail: facil@tcc117.org

料金	入会金	未定	
	年会費	未定	
サービス内容	入会金及び年会費のみにて受けられる	入会時	<ul style="list-style-type: none"> ◆スターターキットの提供 「阪神・淡路大震災からの10年-多文化コミュニティ放送局の記録」(DVD) 「災害時に役立つ通訳・翻訳ボランティアハンドブック」 ◆地域のカルテづくり 問診票で外国人住民の在住状況などを把握し、チェックシートを作成 ◆担当者研修 災害時にコーディネーターを務める方に受講していただきます。
		日常時	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報提供 メールマガジン(月刊) 過去の災害時、自治体による防災事例紹介 ◆研修への参加 地域単位で研修を開催(毎年開催/6会場を予定)
		災害時 ※対象となる災害は下記をご確認ください	<ul style="list-style-type: none"> ◆状況把握のための先遣隊派遣(現地2泊3日をめやすとした諸経費) ◆必要な事業の判断 ◆地元担当者への協力 ◆情報原稿の作成支援 ◆防災ツールを活用した翻訳パックの提供
	別途料金が必要な	日常時	<ul style="list-style-type: none"> ◆講師派遣 ◆紙・ホームページ・携帯電話・音声などを使用した、外国人住民への多言語情報提供(20言語以上対応) →企画・翻訳・制作と、納品まで一括でコーディネート致します。(会員様は通常価格から割引) ◆自治体担当者やシステムづくりに関するアドバイス →多言語相談窓口、医療通訳派遣システム、各種行政窓口への通訳シ
	災害時 ※対象となる災害は下記をご確認ください	<ul style="list-style-type: none"> ◆多言語ラジオ番組制作およびインターネット放送 ◆携帯サイトの提供 ◆必要な情報のちらしなどの作成 ◆ポッドキャスト 	
対象とする災害の定義	地震、台風、水害、豪雪、噴火、人為的な事故などで、 <u>政府レベルで災害対策本部が置かれた場合</u>		
地域ブロックマネージャー	田村太郎(多文化共生センター) 日比野純一(FMわいわい) 吉富志津代(多言語センターFACIL)他、現在調整中		
協働団体のご紹介	(株)グローバルコンテンツ http://www.globalcontents.co.jp/	多言語・多文化な共生社会をつくるためのソリューションを提供します (株)グローバルコンテンツは、NPO法人多文化共生センターを母体として、2001年2月に設立されました。以来、インターネットを用いた多言語情報サービスの提供により、多言語・多文化な社会の実現をめざす事業を展開しています。 ・多言語携帯Webサイト「@nippon」 ・多言語Webサイト作成(PC,携帯)など	
	FMわいわい http://www.tcc117.org/fmyy/	多文化・多民族共生のまちづくりを目指し、10言語で放送しています FMわいわいは阪神大震災を契機に神戸市長田区に生まれた、多言語コミュニティ放送局です。地域社会には多様な人達が暮らしています。その中には外国籍の人もいます。お年寄りもいます。障害を持った人もいます。FMわいわいは、それぞれが互いを認め合い、そして助け合いながらともに暮らしていける豊かなまちづくりをめざして放送を続けています。	
	多言語センターFACIL http://www.tcc117.org/facil-kids/	27言語の翻訳・通訳事業を通し、地域の多言語環境を外国人住民との協働で促進します。 地域住民である外国人に必要な情報の多言語翻訳、生活現場に必要な通訳者の派遣など、専門分野でありながら「ボランティア」の領域であった活動をコミュニティビジネスという事業として展開させ、少数者として暮らす住民の視点による情報提供を大切にします。	